

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 「チームさやま」として頑張る生徒を全力で応援し課題を抱える生徒をトコトン支える熱い学校（卓越性と公平性の追求）
- 2 自分の夢に向かって自発的に学習し、仲間と共に積極的に部活動・学校行事に参加するバランスのとれた生徒の育成
- 3 規律正しい生活習慣・学習習慣を確立し、あいさつ、掃除（整理整頓）、時間厳守（遅刻減少）をさらに向上させるとともに、他者へ思いやりのある生徒の育成（笑顔あふれる綺麗な学校）
- 4 国際交流（姉妹校連携）と地域連携（大阪狭山市唯一の高等学校）の双方に軸足を置いた Global High School を推進し国際感覚を備えた地域に貢献できる若きリーダーの育成
- 5 元気でたくましい生徒があふれる「明るくさわやかな学び舎」「安全・安心の学び舎」づくり

2 中期的目標

1 さらなる学力向上と進路保障

(1) 新学習指導要領に則して思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりに取り組む。

ア. アクティブラーニングの推進、調べ学習・グループワークを取り入れ議論を通じて思考力・判断力・表現力を向上させる。

※思考の発芽（図書館・インターネットの活用）、思考の見える化（カードやホワイトボードの活用）、思考のゆさぶり（発表 / 質問 / 議論 / 教師のアドバイス）
講義型授業から思考を引出しさらなる高みの授業へ転換する。

イ. プロジェクターやタブレット端末等 ICT 機器を活用して生徒の興味・関心を引き出すとともに教員と生徒及び生徒同士でキャッチボールができる双方向の授業を行い真の理解をめざす質の高い授業を行う。

ウ. 進路別授業、実験・実習の充実により全教科で体験型のわかる授業を展開する。

(2) 第一志望を実現する進路指導を進め、個別指導、家庭学習指導の充実を図ることで、夢がかなう進路保障に結び付ける。

ア. 生徒の進路希望を尊重したカリキュラムマネジメントを行い主体的な学びや意欲的な学びを引き出す。

イ. 受験用学習教材や模擬テストを活用し3年間を通じた客観的な学力把握とデータに基づく精度の高い受験指導を行う。

ウ. 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。

※生徒向け学校教育自己診断「授業満足度」（令和元年度 77.5%）、「授業の工夫度」（令和元年度 83.9%）、「カリキュラム満足度」（令和元年度 77.7%）

を令和4年度に3項目すべて 80%以上をめざす。（「授業満足度 H29: 73.1%、H30: 65.1%、R1: 77.5%）「授業の工夫度」（H29: 78.9%、H30: 78.2%、R1: 83.9%）

「カリキュラム満足度」（H29: 76.7%、H30: 72.3%、R1: 77.7%）

※進路ガイダンス/進学講習の充実（令和元年度 81.9%）を令和4年度に 80%以上を維持・向上する。（H29: 80.2%、H30: 79.8%、R1: 81.9%）

※国公立・関関同立 合格のべ 70名以上をめざす。（H29: 74人 H30: 70人 R1: 39人）

2 キャリア教育のための環境づくり

(1) 夢をえがく力、夢をかなえる力を養成し将来に向かって飛躍できるプログラムを展開する。

ア. 「総合的な探求学習」や「道徳教育」を着実に実施し将来を見据えた人格形成を促す。

イ. 地域連携、国際交流を通じて人とかかわりを体験させる。

ウ. 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。

エ. 読書活動を推進する（ビブリオバトルをさらに活性化させ読書の質と量の向上を図る）。

(2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。

ア. すべての生徒に、基本的な人権や人権問題の認識を広め、高い人権意識を育てる。

※生徒向け自己診断「人権（人権の尊重）」の肯定的評価 80%以上を維持・向上する（H29: 69%、H30: 77.7%、R1: 81.9%）

(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。

ア. 学校としての相談体制を明確にするとともに、学年団（担任）及び部活動における相談体制を確立する。

イ. クラブ部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、退部した生徒のフォローに努める。

※生徒向け学校教育自己診断「学校生活満足度」（令和元年度 83.3%）を令和4年度に 90%以上をめざす。（H29: 78.4%、H30: 78.2%、R1: 83.3%）

「相談体制満足度」（令和元年度 68.1%）を令和4年度に 70%以上をめざす。（H29: 73.4%、H30: 56.7% R1: 68.1%）

3 学校改革に向けての盤石な体制づくり

(1) 教職員全員が参加する「チームさやま」体制を発展させる。

ア. 新学習指導要領に対応するカリキュラムマネジメント及び AL 授業推進に向け教職員全体で取り組む。

イ. 安全・安心の学び舎づくり（人権意識を高め、いじめ・体罰「0」を継続するために教職員研修を実施するとともに組織的な対応を推進する。

加えて、地震・台風等の自然災害、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症、食物アレルギー、熱中症等の健康安全確保のための情報共有
対応力向上に資する教職員研修を行う）。

ウ. 職務の平準化を図り、教員相互のチーム力を発揮し、超過勤務の削減及び各種休暇の計画的取得を推進する。

エ. 「文化部フェスタ」等の実施により地域の中学生や市民の方々に狭山高校の魅力を発信し学校と地域の交流を深める。

(2) 学校を取り巻くステークホルダー（保護者、同窓会、地域行政、地域住民）との関係強化に取り組む。

(3) 学校運営協議会の提言を具現化する。

※教員向け学校教育自己診断【学校運営の勤務充実度】（令和元年度 81.1%）を令和4年度に 90%以上をめざす。（H29: 84.9%、H30: 86.8%、R1: 81.1%）

※保護者向け学校教育自己診断【学校満足度】（令和元年度 89.5%）を令和4年度に 90%以上をめざす。（H29: 78.2%、H30: 83.3%、R1: 89.5%）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年11月実施分]	学校運営協議会からの意見																												
<p>【1 学習指導】 生徒向けの質問項目のうち「本校の先生は教え方に様々な工夫をしていると思いますか」が 83.6% (−0.3p)、「本校の授業はあなたの期待に応えることができていると思いますか」は 78.7% (+1.2p) と、昨年と比べてほぼ横ばいであった。また、「本校のカリキュラムはあなたの興味、関心、適性、進路に応じた選択ができるものだと思いますか」は 81.2 (+0.5p) で過去5年で最高の数値となった。(※下記一覧表)。 ※質問項目に「1 とてもそう思う」「2 どちらかといえばそう思う」の合計比率 (単位: %)</p> <table border="1" data-bbox="151 575 905 733"> <thead> <tr> <th>肯定的回答の比率</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の工夫</td> <td>70.5</td> <td>73.5</td> <td>78.9</td> <td>78.1</td> <td>83.9</td> <td>83.6</td> </tr> <tr> <td>期待に応える授業</td> <td>62.2</td> <td>62.2</td> <td>73.1</td> <td>65.1</td> <td>77.5</td> <td>78.7</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>67.7</td> <td>67.7</td> <td>76.7</td> <td>72.3</td> <td>77.7</td> <td>81.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【2 進路指導】 進路指導に関する質問で、「あなたは進路実現に向けて、真面目に学習に取り組んでいますか」の肯定的回答は 79.5% (+4.1p) であった。学年別では1年生 74.2%、2年生、3年生 91.9%で、2、3年生の経年変化を見ると、2年生は 70.3%→73.8%、3年生は 63.3%→68.7%→91.9%と推移している。3年生では9割の生徒が進路実現に向けて熱心に学習に取り組んでいると自覚していることがわかった。</p> <p>【3 高校生活】 (1) 高校生活の充実度及び教育相談体制 「あなたは、本校でいきいきと充実した生活ができていますか」に対して 84.9% (+1.6p) の生徒が肯定的回答をした。「あなたは本校で、友好的な人間関係を築けていると思いますか」に対しては 95.7% (+2.7p) が肯定的な回答で、そのうち 59.4%が「強く思う」としている。例年 85%～90%で高位安定しているが、今年度は臨時休業の影響があるかと懸念していたが、数値に現れなかった。 「担任の先生以外で保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいますか」の問いには 65.7% (−2.4p) の肯定的回答であった。担任に対して何でも相談できる関係が築けているとも考えられるが、教員全体で生徒に関わるような教育相談体制となるよう広報活動等に努める必要がある。(H29. 67.2%→H30. 73.4%→R1. 68.1%)</p> (2) 学校行事 当初の予定で4、5、6月に入っていたクラスマッチ、遠足体育大会、文化行事は中止した。9月の文化祭については、例年より夏休みが短くなり準備期間が短縮されたが、予定どおり、土曜日と日曜日の2日間開催し、同居家族のみ入場を認めた。実行委員会を中心に生徒主体の企画・運営を行い、感染症予防のため、開会式を分散したりクラス企画に規制を加えたが、3年生を中心に盛り上がりを見せ、「本校の文化祭、遠足や修学旅行などの学校行事は楽しめるように工夫されていると思いますか」は 84.5% (+0.4) が肯定的な回答であった。1、2年生のみ秋に遠足を実施。3年生はクラスマッチをする予定であったが雨天のため映画鑑賞となった。 (3) 部活動 生徒向けの「あなたは、部活動に積極的に取り組んでいると思いますか」の質問に対して、 74.2% (+4.8p) が肯定的回答であった。運動系・文化系合わせて約 80% の加入率から考えるとやや物足りないが、対外試合や発表会を通じて多くの体験を積むことができること、高校時代の部活動でしか経験できない先輩、後輩、顧問の教員、外部指導者、他校の生徒及び教員などとの広い範囲の人間関係を学ぶことは、社会人になった時に大きな財産になるので、引き続き、加入率を上げることと生徒の積極的な取組みが促進するよう注力する。教員向けの「本校では生徒が充実感を得られるように部活動を運営していると思いますか」は 94.5% (+4.0p) と高かった。 (4) 国際交流 感染症の影響で、2つの姉妹校(豪州の Carey 校と韓国の景福高校)との親善交流ができない1年であったが、オンライン交流を実現しようと国際交流委員会を中心に準備をし、10月中旬に本校生徒 12 名と景福高校の生徒 13 名でオンライン会議システムを使った交流が行われた。また、今後、大阪観光局から依頼のあった台湾の高校とのオンライン交流は次年度に持ち越されたが、今後も国際交流に興味をもっている生徒のニーズに答えられるような企画をするとともに、全校生徒へ広げる工夫をしていきたい。「本校が行っている語学研修等の国際交流事業は魅力があると思いますか」は 70.2% (−3.2p) であった。	肯定的回答の比率	H27	H28	H29	H30	R1	R2	授業の工夫	70.5	73.5	78.9	78.1	83.9	83.6	期待に応える授業	62.2	62.2	73.1	65.1	77.5	78.7	カリキュラム	67.7	67.7	76.7	72.3	77.7	81.2	<p>第1回学校運営協議会 (令和2年7月8日) ・令和2年度学校経営計画について承認いただく。 【情報提供】 ・令和2年3月の大学入試結果について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・今年度の行事予定等について</p> <p>ご意見 ○まずは感染症予防対策をしっかりとしてほしい。特に電車通学の生徒への手洗いを徹底させる。時差登校を希望する生徒がおれば配慮することも必要。 ○修学旅行は保護者から参加の了解を取ったうえで、旅行業者と詳細な打合せをすること。 ○文化祭に中学生が入場できないと、高校選びの情報が不足する。3年生だけでも認めることはできないか。それも無理であれば、YOU TUBE で公開してはどうか。 ○次年度の授業日を繰り上げて、前年度の3月末に行うことで、8月の授業日を減らせるのではないか。</p> <p>第2回学校運営協議会 (令和2年10月28日) ・令和2年度学校教育自己診断アンケート、令和3年度教科書採択について承認いただく。 【情報提供】 ・文化祭、第1回学校説明会の報告 ・修学旅行の日程変更と概要 (予定) ・オンライン授業の状況</p> <p>ご意見 ○中学3年生は例年より部活動の引退時期などが遅れたことにより、受験生モードへの切り替えも遅くなっている。私立高校は説明会の回数を増やす傾向にあり、私立専願率が高まる可能性がある。公立も説明会等の機会を増やすなど、広報活動をしてほしい。 ○小学校から英語教育が始まるなど、多文化共生時代に入っている。海外への行き来が制限されるなら、国内で暮らす海外の方との交流を考えてみてはどうか。 ○オンライン授業など新しいことに対して若い先生方にチャレンジして行ってほしい。オンライン授業の機器がそろってもそれを活用できるかが課題である。校内研修を実施するなど教職員全体に深めて行ってほしい。 ○コロナ禍で生徒たちの心のケアを引き続き行ってほしい。</p> <p>第3回学校運営協議会 (令和3年2月10日) ・令和2年度学校経営計画の評価案及び令和3年度学校経営計画案について承認いただく。</p> <p>ご意見 ○学校の取組をどのようにして地域に広めるか、発信していくのかを考えられないか。 ○地域連携を部活動だけでなく、授業の中でできないか。 ○「狭山カップ」のような中学生を集めた大会は私立高校ではよく行われているので、取り入れることには賛成。 ○中学校の英語教育において、英検準2級、2級を取得することが当たり前になってきている。高校の準会場で中学生が受検できないか。 ○SDGsに関連して、JICAでお手伝いできることがあれば関わりたい。企業が高校生の提案を求めている場合もある。中学校では、身体を動かすダンスから。そのダンスのルーツを学んでその国を知る取組もある。</p> <p>(5) 地域ボランティア 地域連携の象徴として取組んでいる4月中旬の「狭山池まつり」が早々に中止となったことは残念であった。身体的距離をとりながらできる交流に限られたが、総合(家庭)の授業での手話講座と保育所訪問は実施することができた。狭山池の清掃活動(クリーンアクション)には17年間続けて積極的に協力しており、12月の特別企画には部活動の生徒を中心に200人以上が参加した。「あなたは本校の地域清掃や地域連携活動でボランティア精神が高まったと思いますか」の質問に対する肯定的回答は 62.4% (−3.3p) に留まった。大阪狭山市唯一の高等学校であり、今後とも生徒の自主的な地域連携を積極的に支援したい。「あなたは、本校の地域清掃や地域連携活動でボランティア意識が高まったと思いますか」は 62.4% (−3.2p) であった。</p>
肯定的回答の比率	H27	H28	H29	H30	R1	R2																							
授業の工夫	70.5	73.5	78.9	78.1	83.9	83.6																							
期待に応える授業	62.2	62.2	73.1	65.1	77.5	78.7																							
カリキュラム	67.7	67.7	76.7	72.3	77.7	81.2																							

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 さらなる学力の向上及び進路の保証	<p>(1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取り組む。</p> <p>ア. グループワーク導入による協同的学び、発表能力の向上</p> <p>イ. ICTの活用による教員と生徒の対話の実現及び授業の効率化</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業等同質集団による授業の質の向上</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業の推進</p> <p>(2) 個に応じた希望進路の実現</p>	<p>(授業力の向上)</p> <p>ア. グループワークを取り入れ、少人数で協同作業、討論を行うことにより生徒の思考力・判断力・表現力向上させる。</p> <p>イ. タブレット端末を含むICTを活用することで生徒の興味・関心を引き出し、教員と生徒がキャッチボールしやすい環境をつくる。また、プロジェクター、黒板、プリント等をバランスよく用いて集中力を持続させ、授業第一主義で臨む。</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業で理解度を向上させる。また、実験・実習を充実させ経験値を上げることで理解度を向上させる。</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業を推進する。ノウハウ・教材を共有することで職務の効率化を図る。</p> <p>ア. 3年間を通じた進路指導により進路に対する意識を高め第1志望につながる学びに結実させる。</p> <p>イ. 進路講習・補習・8時間耐久勉強会を充実させる。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による「とてもそう思う/どちらかといえばそう思う」と答えた肯定的意見の%を表示</p> <p>【授業満足度 80%】 (令和元年度77.5%):生徒</p> <p>【授業工夫 80%】 (令和元年度83.9%):生徒</p> <p>【カリキュラム満足度80%】 (令和元年度77.7%):生徒 授業アンケート教員平均3.2以上 (R1. 授業アンケート: 3.19→3.22)</p> <p>z 各教科におけるAL型の研究授業実施</p> <p>z 国公立大学および関関同立合格者: 延べ70名以上</p> <p>【進路実績向上PTによる改革】 進路実績向上PT(仮称)を立ち上げ進路実績向上をめざしてカリキュラム、補習、部活・行事・広報を含めた学校運営全般の見直し及び改革を断行する。</p>	<p>■学校教育自己診断(生徒)の授業満足度 78.7% (○) 授業工夫 83.6 (◎) カリキュラム満足度 81.2% (○)</p> <p>■授業アンケート教員平均は第1回、第2回とも 3.33 (◎)</p> <p>■コロナ禍のため研究授業の実施は断念。評価・育成システムの授業見学期間に、1人1授業の見学を推進し授業力向上への意識を高めた。(○)</p> <p>■進学実績 国公立3人、関関同立35人計38人(H29:74人:H30:70人、R1:39人)</p> <p>■「狭山将来構想PT」として年間で数回開催した。次年度も引き続き、本校の将来構想について検討していく。(○)</p>
2 キャリア教育のための環境づくり	<p>(1) 将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。</p> <p>ア. 地域連携、国際交流の充実に向けた体制整備</p> <p>イ. 当面の進路決定に必要なプログラムの準備</p> <p>ウ. 読書活動の推進</p> <p>エ. 「さやまスタンダード」の徹底</p> <p>(2) 人権尊重意識の向上に取り組む。</p> <p>ア. 多様な人権教育の推進と適切な対応</p> <p>(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。</p> <p>ア. 相談体制の明確化及び確立</p> <p>イ. 部活動、学校行事のさらなる活性化</p>	<p>(キャリア教育)</p> <p>キャリア教育を「生きること、学ぶこと、将来の職業を一体化させること」ととらえ、狭山生に自発・自律した人間として早期に目標を持たせ、将来の生き方を考えさせる。</p> <p>ア. 狭山池まつり等の地域活動を通じて、また幼・小・中学校との連携を通じてボランティアの意味を考えさせる。また、国際交流活動を充実させ、Global(国際交流+地域連携)の更なる発展を実現する。</p> <p>イ. キャリアガイダンス等進路選択に必要なプログラムを用いて、進路指導室、自習室をさらに活用する。</p> <p>ウ. マイメモリーを用いた読書活動を通じ、読書習慣を身につけさせる。また、学校図書を有効に活用し、読書活動を推進するとともに、ビブリオバトルでその成果を確認する。</p> <p>エ. 狭山生として必要なルール(挨拶、清掃、ルール遵守)を徹底し笑顔あふれる綺麗な学校を創る。</p> <p>(人権)</p> <p>ア. 全ての生徒の人権意識を高め多様性を認め合う生徒集団を作り「ともに学ぶともに育つ」を考え実践する。</p> <p>(相談体制)</p> <p>ア. 学校としての相談体制をより強固にして教職員全員で情報共有と生徒の課題を解決する相談体制を充実・発展させる。</p> <p>イ. 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図ると共に、途中で退部した生徒のフォローに努める。</p>	<p>【キャリア教育満足度 80%以上】 (令和元年度81.9%):生徒</p> <p>【地域連携参加 70%以上】 (令和元年度65.6%):生徒</p> <p>【国際交流参画意識 70%以上】 (令和元年度73.5%):生徒</p> <p>・ビブリオバトル本大会出場3回目をめざす。</p> <p>・遅刻件数 600件以内 (令和元年度 673件)</p> <p>【学校生活満足度 85%以上】 (令和元年度83.3%):生徒 (令和元年度89.6%):保護者</p> <p>【人権意識 80%以上】 (令和元年度 81.9%):生徒</p> <p>【相談体制の満足度 70%以上】 (令和元年度カウンセリングマインドを持った対応 75%:教職員、令和元年度気軽に相談 71.4%保護者)</p> <p>【部活動 70%、学校行事満足度 85%以上】(令和元年度 部活動 69.4% 学校行事 84.1%)</p>	<p>■キャリア教育満足度 87.9%(+6.0p) (◎)</p> <p>■感染症拡大の影響により、活動が制限されたため、地域連携参加 62.4%(-3.2p)、国際交流参画意識 70.2%(-3.3p)と昨年度を下回ったが、次年度に継続できるだけの実績は上げられた。(○)</p> <p>■府のビブリオバトル大会は中止となったが、校内大会は時期を6月から10月に移し形態を変更して実施した。(○)</p> <p>■遅刻件数 542件 (◎)</p> <p>■学校生活満足度は生徒 85.0%(+1.6p)保護者 91.1%(+1.5p)(○)</p> <p>■「本校で人権を尊重することについて学んでいる」は 80.8%(-1.1p) (○)</p> <p>■相談体制では、生徒の「友好的人間関係を築けている」の肯定的評価は 95.7%(+4.2p)、教職員の「カウンセリングマインドを取り入れた指導」は 75.4%(+0.4p)保護者の「子どもは気軽に先生に相談できる」は 72.3%(+0.9p)となった。(○)</p> <p>■「部活動に積極的に取り組んでいる」は 74.2%(+4.8p)と昨年度を上回った。(◎)</p> <p>「学校行事は楽しめるように工夫されている」は 84.5%(+0.4p)と昨年度を上回った。(○)</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 学校改革に向けての盤石な体制づくり</p>	<p>(1) 教職員全員が当事者意識を持って学校経営に参加する体制づくりに取り組む。</p> <p>ア. 経営会議による学校改革の PDCA 推進と学校の将来像の検討提案</p> <p>イ. いじめ・体罰「0」を継続するため教職員間で人権意識を高める</p> <p>ウ. 命を守る防災教育の推進</p> <p>エ. 健康・安全確保の取り組みを徹底する</p> <p>オ. 教職員間の協力体制をさらに強固にし「チームさやま」で全員参加の学校経営を推進</p> <p>カ. PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。</p>	<p>ア. H31 年度は新学習指導要領移行期間に入り総合的な探求の時間及び道德教育推進教師を中心とした道德教育に教職員が一致協力して事にあたる。</p> <p>イ. 安全・安心の学び舎づくりのため人権意識を高め努々いじめ・が生起しない確固たる組織づくりを行い万が一いじめ・体罰事象・差別事象が生起した場合に正確かつスピーディーな対応を行う。</p> <p>ウ. 自然災害から身を守る防災教育を推進すると共に大規模自然災害発生時の生徒の安全確保の取り組みを徹底する。</p> <p>エ. 新型コロナウイルス感染対策及びインフルエンザやノロウイルス等の感染症予防、熱中症対策、食物アレルギー対策、AED 使用を周知徹底する。</p> <p>オ. 学年・分掌・教科で行う職務において「チームさやま」をより強固なものにし一致協力して遂行することで各人の職務の平準化・効率化を図る。</p> <p>カ. PTA、後援会及び同窓会との連携を強め、学校の応援団としての活動の活性化を促進する。</p>	<p>【人権意識 80%以上】 (令和元年度 76.5%)：教職員</p> <p>【いじめ(真剣な対応)80%以上】 (令和元年度 81.4%)：生徒</p> <p>【いじめ(体制と迅速な対応)80%以上】 (令和元年度 78.8%)：教職員</p> <p>【危機管理 80%以上】 (令和元年度 69.8%)：教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災を想定した年2回の防災訓練時に台風も含めた命を守る防災教育を実施する。 ・感染症、熱中症、食物アレルギー生徒の健康・安全予防に関する情報共有、職員研修を徹底する。 <p>【勤務の充実度 80%以上】 (令和元年度 81.1%)：教職員</p>	<p>■生徒全体の人権研修が中止となったことから、教職員の「人権尊重に関する様々な課題等について学校全体で取り組んでいる」に肯定的評価は 60.4%(-16.1p) となり、目標をかなり下回ったが、個々の教職員の人権意識は高く保たれている。(○)</p> <p>■生徒の「いじめについて真剣に対応してくれる」は 84.0%(+2.6p)と昨年度とほぼ同じ。(○) 教職員の「いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる」は 87.1%(+8.3p)と目標を上回った。(◎)</p> <p>引き続きいじめが生起しないよう努めると共に発生時の組織的な対応を徹底する。</p> <p>■防災訓練は感染症対策により図上訓練2回となった。(○) AEDについて本校教員による部活動生徒対象の研修と外部講師による教職員対象の研修を行った。食物アレルギーマニュアルを作成し、エビペンの使用について教職員研修を行った。(○)</p> <p>■勤務満足度は 85.5%(+4.4p)と上昇。引き続き「チームさやま」として一体感を持って校務を推進したい。(◎)</p>
--	---	--	--	---